

平成30年3月期 第1四半期

# 決算・会社説明資料

株式会社インターワークス(6032)



interworks inc.

証券コード 6032

1

平成30年3月期 第1四半期業績概要

2

平成30年3月期 第1四半期セグメント別実績

3

平成30年3月期 計画に対する進捗状況

4

成長戦略の進捗状況

# 1-1 平成30年3月期第1四半期業績

- ✓ 第1四半期は、減収減益であるが社内目標は達成
- ✓ 各事業の状況は次ページ以降に記載

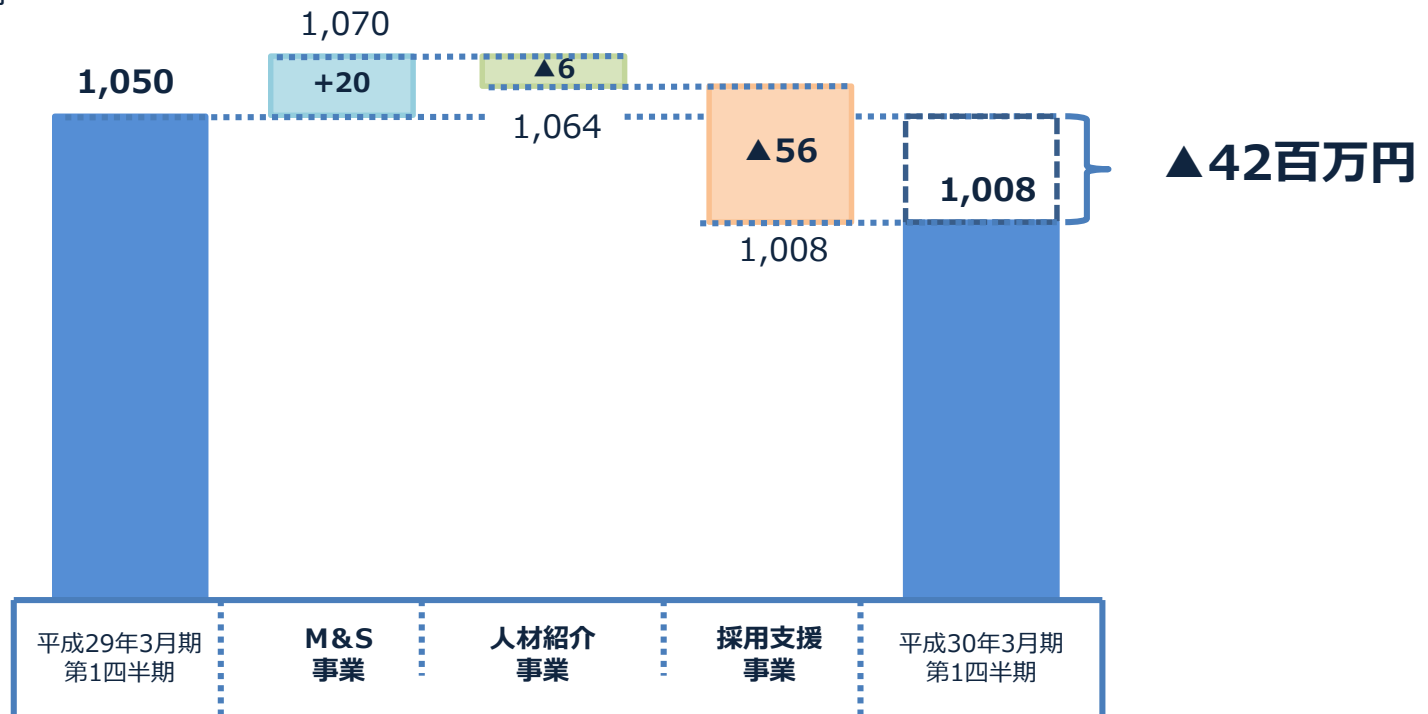
単位：百万円	平成30年3月期 〈通期計画〉	平成30年3月期 〈第1四半期実績〉	年間進捗率	平成29年3月期 〈第1四半期実績〉	対前年比
売上高	4,600	1,008	21.9%	1,050	96.0%
営業利益	950	163	17.2%	226	72.4%
経常利益	950	165	17.4%	226	73.0%
当期純利益	640	111	17.5%	153	73.0%

# 1-2 前年第1四半期との差異分析(売上高)

- ✓ 主力のM&S事業は、着実に増収を達成
- ✓ 人材紹介事業は、期初のコンサルタント数の補強の遅れにより、やや減収のスタート
- ✓ 採用支援事業は、収益の内容を変える構造改革が進行中

## <売上高増減の要因分析>

単位：  
百万円

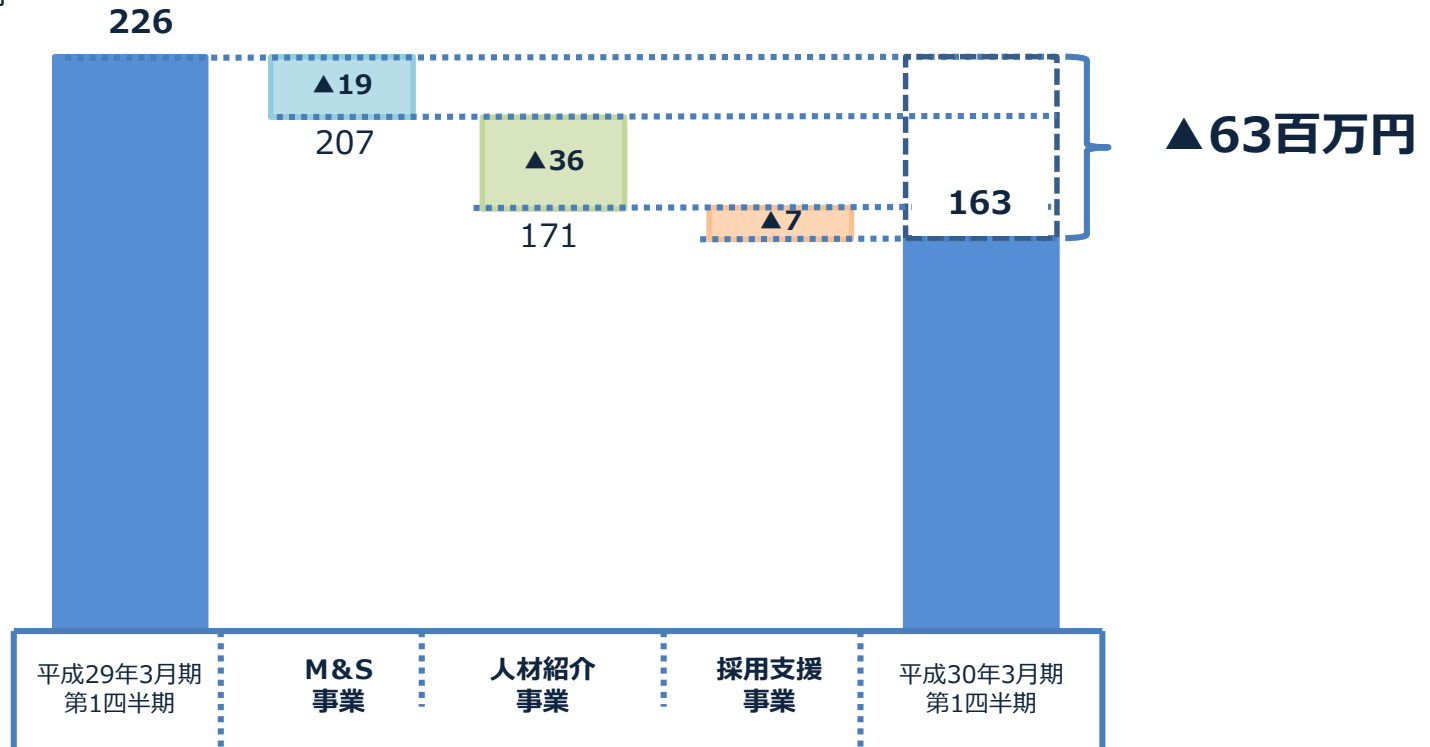


# 1-3 前年との差異分析(営業利益)

- ✓ M&S事業は、ITインフラの再構築費用(成長投資)によって減収
- ✓ 人材紹介事業は減収による減益
- ✓ 採用支援事業は、構造改革による利益率の改善により減収幅を抑えた

## <営業利益減少の要因分析>

単位：  
百万円



1

**平成30年3月期 第1四半期業績概要**

2

**平成30年3月期 第1四半期セグメント別実績**

3

**平成30年3月期 計画に対する進捗状況**

4

**成長戦略の進捗状況**

# 2-1 M&S事業の状況

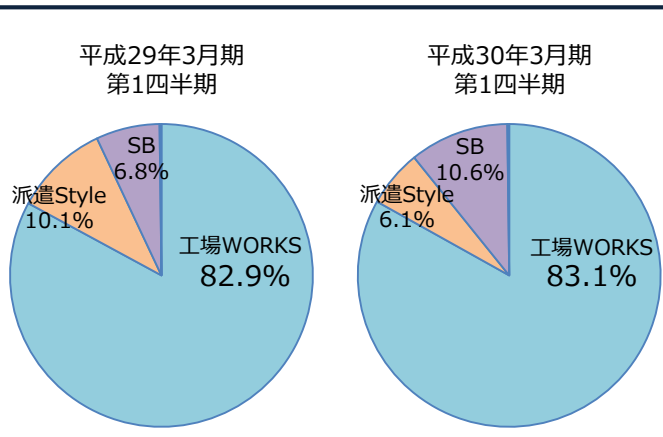
- ✓ 工場WORKSへの集中戦略が進行中
- ✓ 新規開拓対象であるメーカーの取引社数の上積みが進む

(次ページ参照)

単位：百万円      平成30年3月期 <実績>      平成29年3月期 <実績>      対前年比

M&S事業 (メディア事業)	売上高	457	436	104.7%
	営業利益	124	143	86.5%

<商品別売上構成比>



<工場WORKS 重要指標>

顧客単価は、堅調に伸長。

	平成29年3月期	平成30年3月期
第1四半期平均単価	34.3万円	37.4万円 (109.0%)
第1四半期取引社数	1,036社	1,016社 (98.1%)

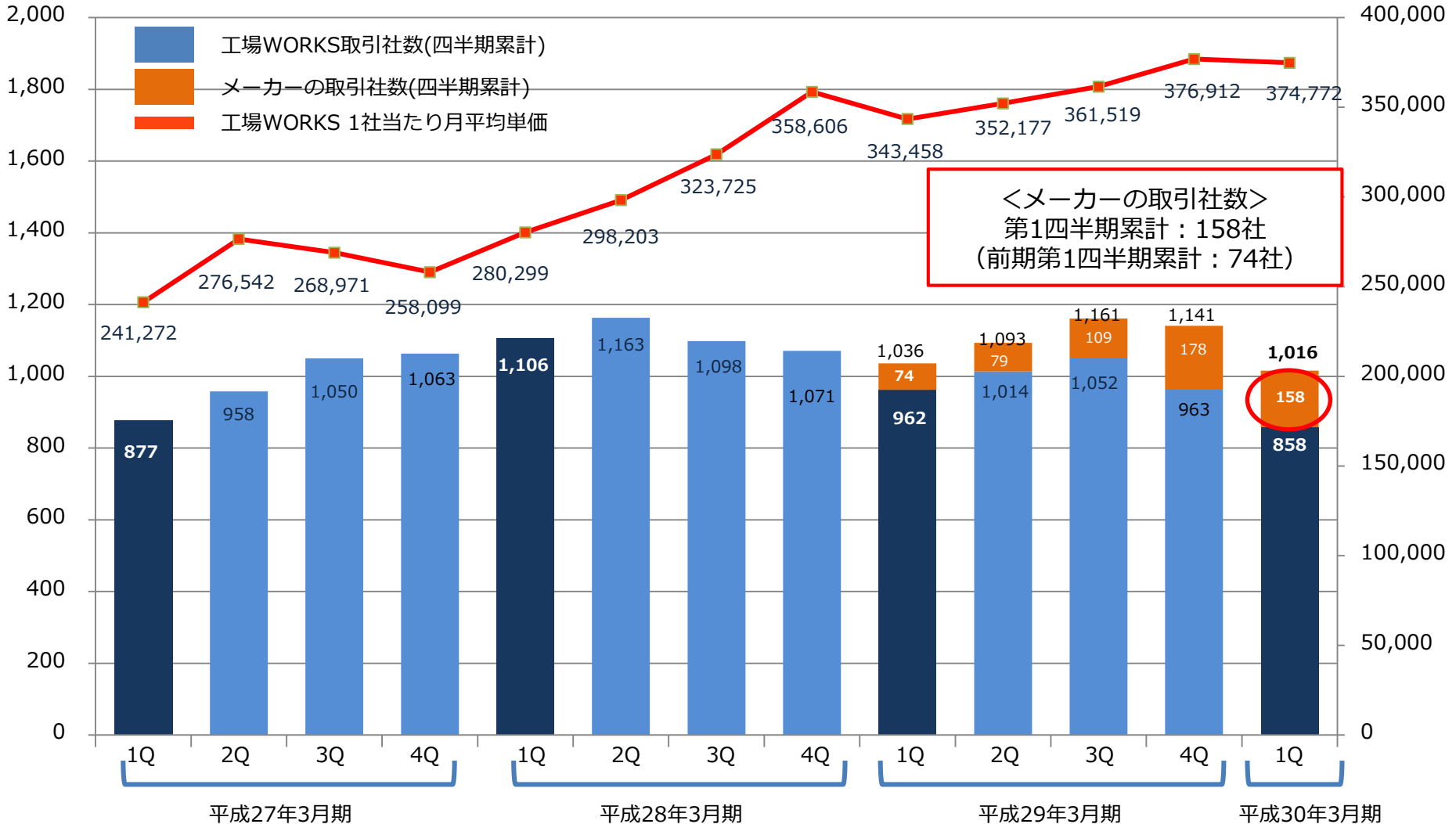
※詳細な推移は次ページをご参照下さい

\* SB：派遣会社向けにホームページ制作や診断ツールの提供

# <参考> 工場WORKS 1社あたり単価/取引社数

単位：社

単位：円





## 2-2 人材紹介事業の状況(年間累計)

- ✓ 第1四半期は成約単価のアップによって、コンサルタント数の減員をカバー
- ✓ コンサルタント数の補強は、第1四半期に完了（下記の通り）

	単位：百万円	平成30年3月期 ＜第1四半期実績＞	平成29年3月期 ＜第1四半期実績＞	対前年比
人材紹介事業	売上高	197	203	97.0%
	営業利益	4	40	11.0%



＜コンサルタント人数＞

4月時点では、前期人数より減員。  
7月時点では、前期人数より大幅に増員。

2017年4月	2016年4月	差
31	34	▲3
2017年7月	2016年7月	
45	37	+8

コンサルタント人数：目標数値を持つコンサルタント人数

注) 成約単価：成約1件あたりにクライアント企業から頂くコンサルタントフィー

## 2-3 採用支援事業の状況(年間累計)

- ✓ 既存の採用支援事業は、新卒採用支援事業のウェイトを高めることによって営業効率を上げている
- ✓ さらに、新卒採用支援事業において、RPAを活用することによって原価率を改善

※RPA：ロボテック・プロセス・オートメーション=ホワイトカラー業務の自動化・ロボット化

単位：百万円

平成30年3月期  
＜第1四半期実績＞

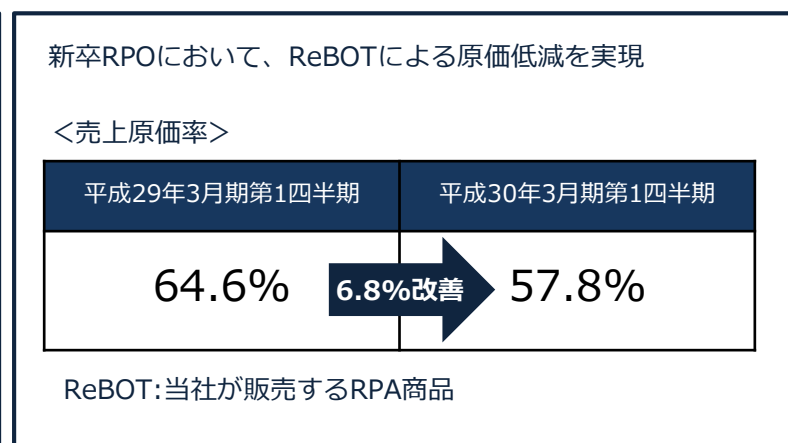
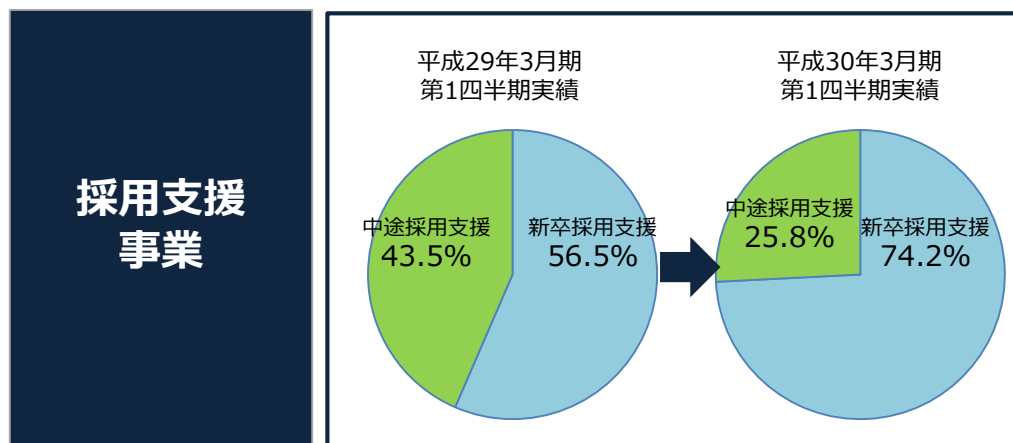
平成29年3月期  
＜第1四半期実績＞

対前年比

	平成30年3月期 ＜第1四半期実績＞	平成29年3月期 ＜第1四半期実績＞	対前年比
<b>採用支援事業</b>			
売上高	353	409	86.2%
営業利益	34	42	82.6%

＜新卒採用支援と中途採用支援の売上構成比＞

＜HRテックの進捗事例＞



1

平成30年3月期 第1四半期業績概要

2

平成30年3月期 第1四半期セグメント別実績

3

平成30年3月期 計画に対する進捗状況

4

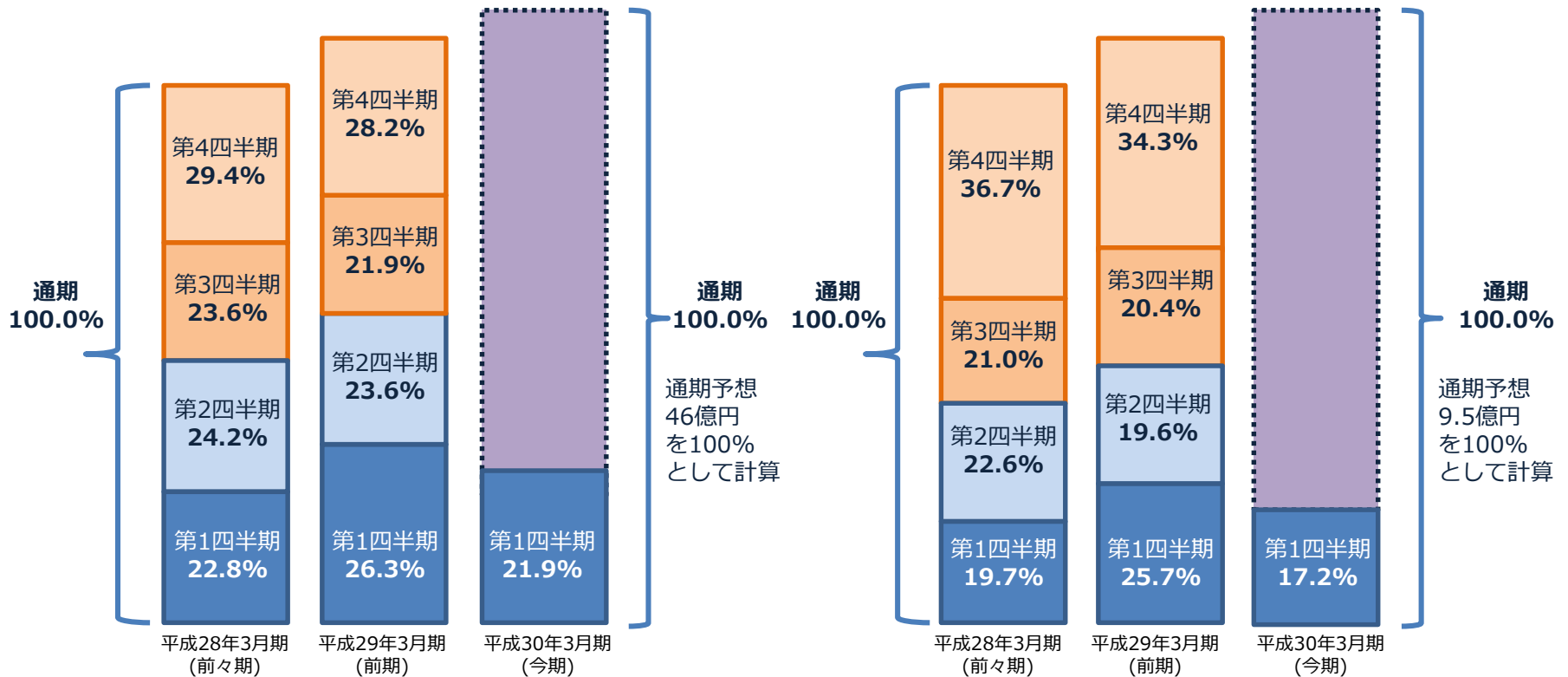
成長戦略の進捗状況

# 3 平成30年3月期(第28期)計画

- ✓ 第1四半期は、前期比で減収減益であるが、社内目標はクリア
- ✓ 6月度単月の実績は、前期比で増収増益

通期【売上高(予想)】に占める四半期の割合

通期【営業利益(予想)】に占める四半期の割合



1

平成30年3月期 第1四半期業績概要

2

平成30年3月期 第1四半期セグメント別実績

3

平成30年3月期 計画に対する進捗状況

4

成長戦略の進捗状況

## ① 工場WORKSへの集中

⇒他のメディア事業(メーカーズ含む)の経営資源を工場WORKSに集中

### <第1四半期進捗>

工場WORKSに経営資源を集中する体制構築完了。

## ② 工場WORKSの求人企業の拡大

⇒直メーカー求人企業(自動車・非自動車)の戦略的拡大

### <第1四半期進捗>

営業力強化を行い、直メーカー企業への戦略的展開が堅調に推移。

## ③ 工場WORKSのカバーする求人領域の拡大

⇒物流・倉庫等の新領域の開拓

### <第1四半期進捗>

中長期の持続的成長に向けて、新領域のサービス開発に着手開始。

## ① アッパーミドル領域と製造業分野への集中

⇒延べ5,000社超の製造業顧客アカウントの戦略的活用

### <第1四半期進捗>

製造業界を自動車、産業機械、半導体、IOT 等に細分化し、その中でも成長性が高く人材ニーズの高いクライアントに集中し、サービス提供できる体制構築完了。

## ② メディア事業とのクロス・セリング展開

⇒メディア&紹介モデルの構築

### <第1四半期進捗>

工場WORKSによる集客と人材紹介のマッチングを掛け合わせた新しいメディア&紹介モデルを複数のクライアントに対し提案を開始。

## ③ 仕組化による新モデルの開発

⇒人材紹介事業の生産性向上

### <第1四半期進捗>

第1四半期に増員したコンサルタントが早期に戦力化するための教育の仕組化を行うことにより、今回増員したコンサルタントの生産性向上だけでなく、新たに増員するコンサルタントの育成を加速化することが可能に。

## ① 労働集約型の採用支援事務代行業からの脱却

⇒採用事務代行業から採用コンサルティング事業にシフト

### <第1四半期進捗>

これまでの労働集約型の採用事務代行からHR-Techを活用した採用生産性の高いソリューション提供を行う営業体制構築完了。

## ② HR-Tech事業の開拓

⇒HR-Techをベースとした新サービス開発

### <第1四半期進捗>

HR-Techを活用することにより、採用人物要件の明確化ができ、ターゲット学生にのみ魅力を伝え、認知を促進することによって採用効率化を図る「TAS(Talent Acquisition System)」のサービス開始。



この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2017年8月1日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がございます。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。